

運用報告書 (全体版)

第1期<決算日2023年5月8日>

たわらノーロード 新興国現地通貨建債券 <ラップ専用>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券（インデックス型）	
信託期間	2023年2月10日から無期限です。	
運用方針	J PモルガンGB I ーEMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	たわらノーロード 新興国現地通貨建債券 <ラップ専用>	新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。また、上場投資信託証券等に投資する場合があります。
	新興国現地通貨建債券 インデックス・ マザーファンド	新興国の現地通貨建ての公社債を主要投資対象とします。また、上場投資信託証券等に投資する場合があります。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%未満とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（毎年5月8日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「たわらノーロード 新興国現地通貨建債券<ラップ専用>」は、2023年5月8日に第1期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

たわらノーロード 新興国現地通貨建債券<ラップ専用>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan Global Emerging Markets Global Dividend Fund (円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 比率	債券先物 比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期 騰落率				
(設定日) 2023年2月10日	円	円	%	ポイント (2月9日)	%	%	%	%	百万円
	10,000	-	-	35,300.04	-	-	-	-	1
1期(2023年5月8日)	10,412	0	4.1	37,522.57	6.3	-	-	98.9	6,076

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはJPMorgan Global Emerging Markets Global Dividend Fund (円換算ベース、為替ヘッジなし) であり、算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。

(注5) JPMorgan Global Emerging Markets Global Dividend Fundに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します (以下同じ)。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		JPMorgan Global Emerging Markets Global Dividend Fund (円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 比率	債券先物 比率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(設定日) 2023年2月10日	円	%	ポイント (2月9日)	%	%	%	%
	10,000	-	35,300.04	-	-	-	-
2月末	10,034	0.3	35,809.02	1.4	-	-	99.4
3月末	10,141	1.4	36,370.52	3.0	-	-	99.4
4月末	10,202	2.0	36,860.17	4.4	-	-	98.9
(期末) 2023年5月8日	10,412	4.1	37,522.57	6.3	-	-	98.9

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

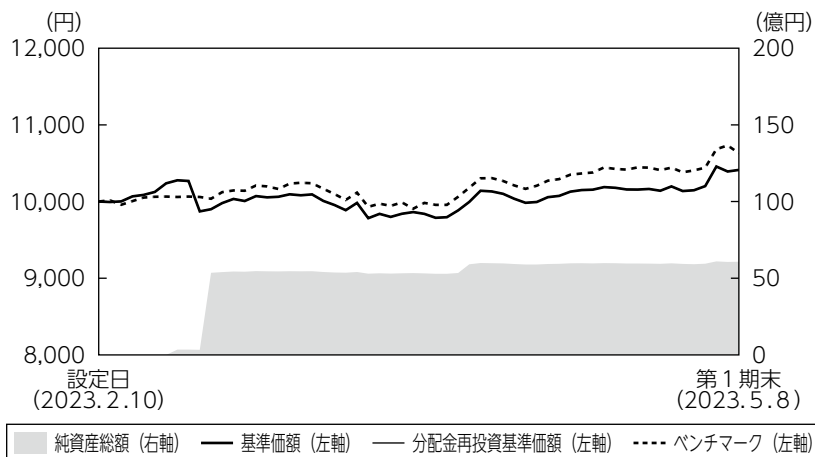
(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2023年2月10日から2023年5月8日まで）

基準価額等の推移



設定日：10,000円
第1期末：10,412円
(既払分配金0円)
騰落率：4.1%
(分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定日前日を10,000として指数化しています。

基準価額の主な変動要因

中南米を中心に新興国現地通貨建て債券市場が上昇し、基準価額は上昇しました。

投資環境

新興国現地通貨建て債券市場は上昇しました。米銀破綻などのマイナス要因はあったものの、各国中央銀行が迅速な対応を行ったことや2023年3月に新興国株式市場が好調であったことなどがプラス要因となりました。国別では、新財政規則案が好感されたブラジルなど、中南米地域の上昇が目立ちました。

新興国通貨は、対米ドルで上昇しました。利上げを行ったメキシコペソなど、高金利通貨の上昇が目立ちました。米ドルは振れ幅の大きい展開でしたが、堅調な雇用統計や利上げ観測、2023年4月の終わりに日銀が長短金利操作の維持を決めたことなどから、対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

新興国現地通貨建て債券インデックス・マザーファンドを高位に組み入れました。

●新興国現地通貨建て債券インデックス・マザーファンド

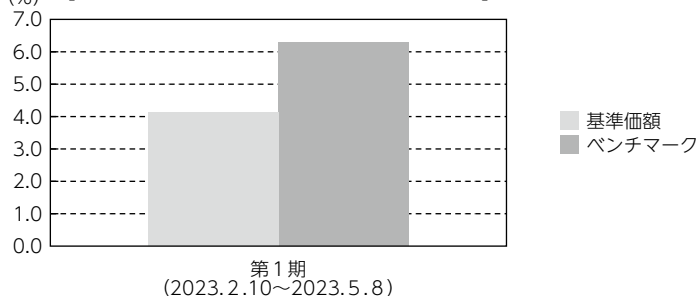
ベンチマークであるJPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース、為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を概ね一致させることをめざしてポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは設定来で6.3%上昇しました。

ファンド設定初期における設定・解約の影響により、当ファンドはベンチマークを2.2%下回りました。

(%) 【基準価額とベンチマークの対比（設定来）】



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2023年2月10日 ～2023年5月8日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	520円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンドを高位に組み入れます。

●新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2023年2月10日 ～2023年5月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	5円	0.045%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,061円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(4)	(0.037)	
(販売会社)	(0)	(0.003)	
(受託会社)	(1)	(0.005)	
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.009)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	0	0.002	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(0)	(0.001)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	6	0.055	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

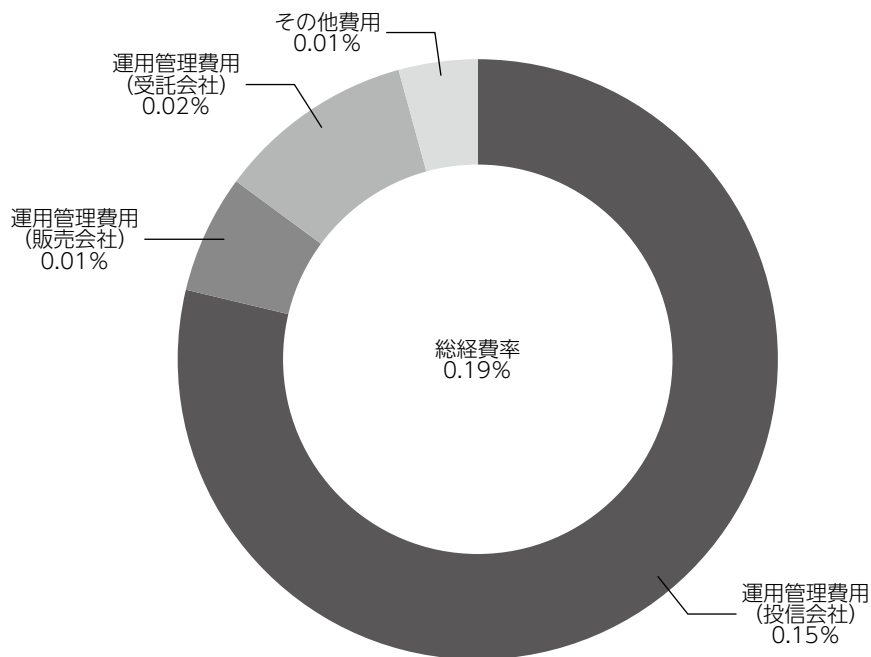
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.19%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年2月10日から2023年5月8日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
新興国現地通貨建債券 インデックス・マザーファンド	千□ 5,934,382	千円 5,872,527	千□ 103,216	千円 104,400

■利害関係人との取引状況等（2023年2月10日から2023年5月8日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時又は当初運用時における取得

■組入資産の明細

親投資信託残高

	当 期		末
	□ 数	評 価	額
新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンド	千□ 5,831,165		千円 6,074,325

■投資信託財産の構成

2023年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンド	6,074,325	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,085	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	6,078,411	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2023年5月8日現在、新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンドは6,045,390千円、99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=135.14円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月8日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,078,411,485円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,085,981
新興国現地通貨建債券 インデックス・マザーファンド(評価額)	6,074,325,504
(B) 負 債	2,177,529
未 払 信 託 報 酬	2,136,224
そ の 他 未 払 費 用	41,305
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	6,076,233,956
元 本	5,835,682,826
次 期 繰 越 損 益 金	240,551,130
(D) 受 益 権 総 口 数	5,835,682,826口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,412円

(注) 設定当初の投資元本額は1,000,000円、当期中における追加設定元本額は5,983,124,184円、同解約元本額は148,441,358円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月10日 至2023年5月8日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△509円
受 取 利 息	22
支 払 利 息	△531
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	303,699,319
売 買 益	306,329,745
売 買 損	△2,630,426
(C) 信 託 報 酬 等	△2,177,529
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	301,521,281
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△60,970,151
(配 当 等 相 当 額)	(△30)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△60,970,121)
(F) 合 計(D+E)	240,551,130
次 期 繰 越 損 益 金(F)	240,551,130
追 加 信 託 差 損 益 金	△60,970,151
(配 当 等 相 当 額)	(2,085,654)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△63,055,805)
分 配 準 備 積 立 金	301,521,281

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	73,710,801円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	227,810,480
(c) 収 益 調 整 金	2,085,654
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	303,606,935
(f) 1万口当たり当期分配対象額	520.26
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2023年5月8日）

（計算期間 2023年2月10日～2023年5月8日）

新興国現地通貨建債券インデックス・マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2023年2月10日から無期限です。
運用方針	主として新興国の現地通貨建ての公社債に投資を行い、J PモルガンGB IーEMグローバル・ディバースィファイド（円換算ベース、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	新興国の現地通貨建ての公社債を主要投資対象とします。また、上場投資信託証券等に投資する場合があります。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%未満とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		J PモルガンGB IーEM グローバル・ディバースィファイド (円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 比率	債券先物 比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	期騰落率	中期騰落率	ポイント	中期騰落率				
(設定日) 2023年2月10日	円	%	ポイント (2月9日) 35,300.04	%	%	%	%	百万円 0.995
1期(2023年5月8日)	10,417	4.2	37,522.57	6.3	—	—	98.9	6,074

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) ベンチマークはJ PモルガンGB IーEMグローバル・ディバースィファイド（円換算ベース、為替ヘッジなし）であり、算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注4) J PモルガンGB IーEMグローバル・ディバースィファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

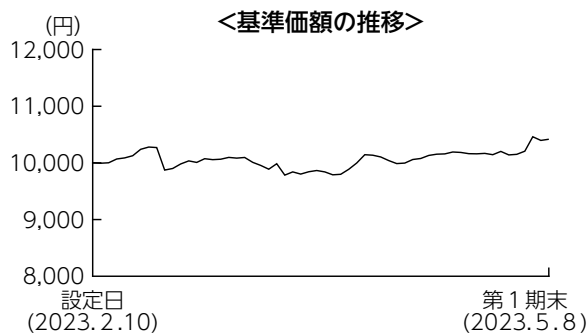
年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率		(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	騰 落 率			
(設定日) 2023年2月10日	円	%	ポイント (2月9日) 35,300.04	%	%	%	%
2 月 末	10,000	—	35,809.02	—	—	—	—
3 月 末	10,035	0.4	36,370.52	1.4	—	—	99.6
4 月 末	10,144	1.4	36,860.17	3.0	—	—	99.4
(期 末) 2023年5月8日	10,206	2.1	37,522.57	4.4	—	—	99.0
	10,417	4.2		6.3	—	—	98.9

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2023年2月10日から2023年5月8日まで）



基準価額等の推移

当期末の基準価額は10,417円となり、設定日比で4.2%上昇しました。

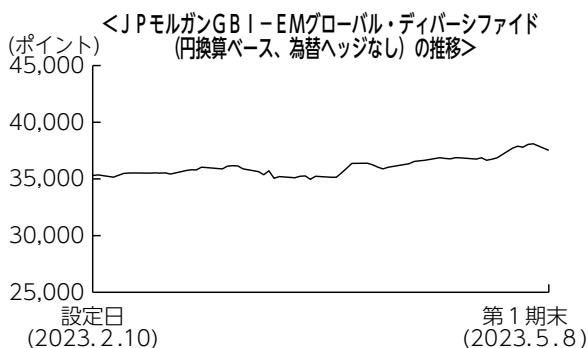
基準価額の主な変動要因

中南米を中心に新興国現地通貨建て債券市場が上昇し、基準価額は上昇しました。

投資環境

新興国現地通貨建て債券市場は上昇しました。米銀破綻などのマイナス要因はあったものの、各国中央銀行が迅速な対応を行ったことや2023年3月に新興国株式市場が好調であったことなどがプラス要因となりました。国別では、新財政規則案が好感されたブラジルなど、中南米地域の上昇が目立ちました。

新興国通貨は、対米ドルで上昇しました。利上げを行ったメキシコペソなど、高金利通貨の上昇が目立ちました。米ドルは振れ幅の大きい展開でしたが、堅調な雇用統計や利上げ観測、2023年4月の終わりに日銀が長短金利操作の維持を決めたことなどから、対円で上昇しました。



ポートフォリオについて

ベンチマークであるJPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース、為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を概ね一致させることをめざしてポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは設定来で6.3%上昇しました。

ファンド設定初期における設定・解約の影響により、当ファンドはベンチマークを2.1%下回りました。

今後の運用方針

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券)	1円 (1)	0.009% (0.009)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は10,063円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年2月10日から2023年5月8日まで)

投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
VANECK J. P. MORGAN EM LOCAL CURRENCY BOND ETF	1,775.295 (-)	43,475 (-)	21.5 (-)	532 (-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年2月10日から2023年5月8日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

外国投資信託受益証券

銘	柄	当 期		末
		口 数	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)		千口	千アメリカ・ドル	千円
VANECK J. P. MORGAN EM LOCAL CURRENCY BOND ETF		1,753.795	44,458	6,008,149
合 計	口 数 ・ 金 額	1,753.795	-	6,008,149
	銘 柄 数<比 率>	1銘柄<98.9%>	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2023年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	6,008,149	98.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	66,322	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	6,074,471	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、6,045,390千円、99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=135.14円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月8日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,074,471,893円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	66,322,736
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	6,008,149,157
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	6,074,471,893
元 本	5,831,165,887
次 期 繰 越 損 益 金	243,306,006
(D) 受 益 権 総 口 数	5,831,165,887口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,417円

(注1) 設定当初元本額 995,000円
追加設定元本額 5,933,387,643円
一部解約元本額 103,216,756円

(注2) 期末における元本の内訳
たわらノーロード 新興国現地通貨建債券<ラップ専用>
5,831,165,887円
期末元本合計 5,831,165,887円

■損益の状況

当期 自2023年2月10日 至2023年5月8日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	74,893,109円
受 取 配 当 金	74,770,946
受 取 利 息	124,040
支 払 利 息	△1,877
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	231,503,035
売 買 損 益	232,033,093
売 買 損	△530,058
(C) そ の 他 費 用	△51,251
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	306,344,893
(E) 解 約 差 損 益 金	△1,183,244
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△61,855,643
(G) 合 計(D+E+F)	243,306,006
次 期 繰 越 損 益 金(G)	243,306,006

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。